

過去の水害を振り返り、教訓を次世代につなげる
平成16年台風23号メモリアル事業「防災学習会」開催

10月19日、豊岡市民プラザで、平成16年台風23号メモリアル事業「防災学習会」を開催しました。

初めに、気象予報士の橋詰尚子さんが「豊岡市の気象特性と気象情報のチェックポイント」と題し、本市の気象特徴を分かりやすく解説。続いて、出石川の堤防決壊現場近くの小坂小学校教頭の小藤倫敏さん(当時)と鳥居区長の廣井昌利さん(当時)が、当時を

写真で振り返り、風雨の中の避難状況や、堤防決壊によりまちが浸水していく状況などを語りました。

この対談で、二人は、避難する場合は「危険と感じてから避難したのでは遅いため、周りの状況を確認し、早めに避難することが大事」「防寒着や食料など最低限必要なものは、各自が避難所に持参することが必要だ」と来場者に呼びかけました。

みんなで取り組もう！
認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

「豊岡市認知症フォーラム」開催

10月21日、市民会館文化ホールで「豊岡市認知症フォーラム」を開催しました。

第1部では、豊岡病院認知症疾患医療センター長で高石医院院長の高石俊一さんが「知ろう！学ぼう！認知症」正しい知識と気づきのポイント」と題した講演を行いました。

第2部では「みんなで考えよう！認知症」私にできること あなたにできること

「をテーマに、若年性認知症と診断された当事者が、私が今伝えたいことをメッセージとして伝えた他、家族介護者2人による現状の報告、意見交換、また、豊岡総合高校の生徒が登壇し、自ら作成した啓発映像を披露しました。

このフォーラムの開催により、認知症になっても自分らしく、安心して暮らせるまちづくりについて、それぞれができることを考えました。



▲認知症について発表する豊岡総合高校生



▲当時を振り返る廣井さん(左)と小藤さん

**モンゴル国U15野球競技
 国家代表in豊岡合宿**

10月22日から27日まで、モンゴル国の野球競技国家代表(15歳以下)が、本市で強化合宿を行いました。

代表選手10人は、NOMOベースボールクラブから、打撃や守備などの技術指導を受けました。また、市内の中学硬式野球クラブの2チームと親善試合を行い、国際交流も深めました。



▲「親善試合」(対:兵庫豊岡ボーイズ)で打つモンゴル国U15代表選手

主な市政の動き

【10月】

- 10日・地域コミュニティ組織と市長の意見交換会(城崎・但東、11日・竹野、12日・豊岡、13日・日高、24日・出石)
- 文部科学省若手職員が「とよおかの教育」を研修(11月2日)
- 19日・台風23号メモリアル事業「防災学習会」
- 22日・第48回衆議院議員総選挙および豊岡市議会議員選挙
- 19日・台風21号豊岡市災害対策本部設置
- 25日・写真家・増浦行仁さんから芸術作品の寄贈
- 30日・豊岡市障害者福祉計画策定・推進委員会
- 31日・秋季市政懇談会(但東、11月1日・城崎、2日・竹野、6日・豊岡、15日・出石、21日・日高)

【11月】

- 1日・豊岡アートシーズン2017(冬会期)(12月24日)
- 4日・豊岡市美術展(5日・第十回永楽館歌舞伎(12日))

平成30年度但馬・伊丹路線に就航予定

コウノトリ但馬空港で最新鋭「ATR42-600型機」見学会

10月27日午後1時ごろ、来年度から但馬・伊丹路線に就航予定の日本エアコミューター(株)の最新鋭「ATR42-600型機」が、就航前にいち早く地元の方々にお披露目するため、コウノトリ但馬空港に飛来しました。

新型機は、フランスの航空機メーカーATR社製のターボプロップ機(プロペラ機)で、現在就航中のサーブ機よりもひと回り大きく、定員も

12席増の48人乗りです。機内や手荷物収納スペースも、ゆったりしており、シートは全席革張り。足元もより広くなっています。また、静粛性にも優れ、約40分間の空の旅をより楽しむことができます。

この日は、関係者による出迎えセレモニーが行われ、日本エアコミューター(株)関係者に花束が贈られた後、抽選で選ばれた地元の皆さんに新型機の機内が公開されました。



▲最新鋭機の機内見学に向う参加者

第十回永楽館歌舞伎公演初日にお披露目

片岡愛之助私設後援会愛好会から「祝い幕」の寄贈

10月29日、出石永楽館に、片岡愛之助私設後援会愛好会(大阪府)から、舞台上飾る「祝い幕」を寄贈していただきました。

祝い幕は、歌舞伎役者の襲名などの祝い事の際、ひいき客から贈られる幕のことです。今年、歌舞伎役者の片岡

愛之助さんが座頭を務める永楽館歌舞伎が、第10回を迎えることを記念して、同愛好会が半年をかけて制作しまし

た。縦4m、横12mの絹製で、愛之助さんの名前や定紋、マツ、イチヨウが描かれていました。また、愛之助さんの提案で、コウノトリもあしらわれ、躍動感あふれる2羽のコウノトリが、定紋の周りを羽ばたいています。

祝い幕は、11月4日の「第十回永楽館歌舞伎公演」初日から使用され、来館者は、これまでと違う開演前や幕あいの舞台も楽しめました。



▲中貝市長に目録を渡す愛好会会長の平沼憲一さん(左)

中貝市長の徒然日記 ⑫

繰り返される危機

今年は、台風で肝を冷やしました。18号では、21時過ぎ、円山川立野地点の水位が24時に7・9mに達するという予測が国土交通省から入ってきました。ルール上私は7・16mで排水機を停止しなければなりません。止めれば、豊岡は水浸しになります。災害対策本部は騒然となり、私は覚悟し、自分に冷静になることを言い聞かせていました。

が、流域全体に降った雨が円山川に流れ込み、堤防が決壊しました。その再来もありうる、という数字でした。もちろん予測は当たるかもしれませんが、外れるかもしれません。私は判断しなければなりません。14時、選管に投票時間の繰り上げを要請し、それに沿った決定がなされました。14時30分に災害警戒本部を災害対策本部に切り替え、全避難所の開設を指示しました。市職員の他、消防団、警察、国等からも続々と関係者が集まってきました。

幸い、雨雲が早く抜け、大事には至りませんでした。しかし、水位は3時間で立野で4・24m、赤崎では7・07mに上昇していました。平成16年台風23号の後に築かれた堤防が、赤崎や浅倉を救いました。

驚いたのは、その中に議員の姿があったことです。豊岡は、正副議長、4人の委員長も災害対策本部に入ることになっています。しかし、自身の選挙の投票日です。全員が防災服に身を包み、駆け付けました。当選が決まっても、万歳どころではありません。ほとんど徹夜状態で災害対策優先でした。自宅に帰れず、当選証書付与式も防災服のまま、という議員もありました。

気象台の予報も同様でした。恐ろしいのは、満遍なく降る、という点です。台風23号の降水量は278mmでした

台風5号、18号、21号は、市の対策に約8億円を要する災害をもたらしました。

2~13

今月のイチオシ

14~17

市政ニュース

18~23

クロースアップ
豊岡

24~31

くらしの情報

32~33

保健行事

34~35

図書館・
つどいの広場

36~37

主な相談・
主な行事